



佐々木 善朗さん  
(船越地区・69歳)

山田高校入学後にボート競技を始め、国民体育大会へ7度出場。昭和45年の岩手国体では、青年の部で岩手県の総合優勝に貢献しました。平成2年から現在まで、岩手県ボート協会理事、山田町ボート協会副会長として活躍。町の体育の発展に貢献した功績は大きいものがあります。(体育功労)



勝山 保男さん  
(豊間根地区・76歳)

平成3年から現在に至るまで、新田第3納税貯蓄組合長として尽力されました。納税貯蓄組合活動を積極的に行い、組合員の納税推進・指導を行うなど、町財政の確保に貢献されるとともに、地区住民の納税意識の高揚に寄与した功績は大きいものがあります。(納税功労)



箱石 紅子さん  
(山田地区・70歳)

平成元年から現在まで、民生委員・児童委員として活動。29年以上にわたり、地域住民の良き相談者、助言者として活動されました。中でも、生活保護や一人暮らし老人問題に注力。これらの取り組みを通して、町の地域福祉の向上に今なお尽力されています。(民生功労)

# 10人が栄に浴す

(カッコ内は地区および2月1日現在の年齢)



尾形 光平さん  
(豊間根地区・82歳)

29年間にわたり統計調査員として従事。この間、行った調査は43回にもおよび、統計調査の最前線で町や県、国の指針決定に重要な統計作成を支えてきました。これまで行ってきた各種統計調査は正確かつ円滑に行われており、その成績の優秀さが高く評価されています。(統計功労)



受章された皆さん

長年にわたり、町勢の推進に功労のあった方を表彰する、令和元年度町勢功労者の表彰式が1月6日、町中央公民館小ホールで行われました。新年交賀会と併せて行われた同表彰式には、来賓の昆暉雄町議会議長をはじめ、町内外の各界代表者ら175人が出席。自治や統計などの各分野で町の発展に貢献した方々の功績をたたえました。佐藤町長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡し、これまでの活動に敬意を表しました。受章した佐々木善朗さんは、代表謝辞で「栄えある表彰を賜ったことはこの上ない喜び。今後もそれぞれの立場において町勢の発展に尽力したい」と謝意を表しました。



堀合 和裕さん

(山田地区・65歳)

平成11年から20年間にわたり、関口1区の行政区長として活動されました。広報紙などの配布や各種文書の回覧をはじめとした業務や、地区からの要望の伝達などを通して、地区住民と行政の架け橋として活躍された功績は大きく、現在も、行政区長として活動されています。(自治功労)



荒川 登氏郎さん

(船越地区・76歳)

昭和60年に山田空手道協会に入会。現在に至るまで協会活動の振興・発展に尽力されています。また、空手道の指導者として、その発展と青少年の健全育成のため、常に指導者の先頭で会員とともに汗を流し、空手はもとより町の体育の発展に貢献されています。(体育功労)



道又 たい子さん

(大沢地区・66歳)

平成6年から現在まで、主任児童委員として活動されました。25年以上にわたり、地域住民の良き相談者、助言者として尽力。特に、子どもを取り巻く問題に目を向けて主体的に取り組み、町の地域福祉および児童福祉の向上に今なお努められています。(民生功労)

# 令和元年度町勢功労者表彰 長年の功績により



山崎 富美男さん

(船越地区・72歳)

昭和61年に山田町防犯隊へ入隊し、副隊長として除隊するまでの26年間、地域防犯活動や防犯思想の普及高揚に尽力。平成24年からは防犯協会理事に就任し、船越支部長として防犯隊を側面から支え、明るく住みよいまちづくりのために、継続して地域安全活動に尽力されています。(治安功労)



藤原 義光さん

(山田地区・71歳)

平成4年に山田町防犯隊へ入隊して以降、地域防犯活動や防犯思想の普及高揚に努められました。人柄温厚で地域からの人望も厚く、平成24年からは、防犯隊副隊長として、広報車によるパトロールや青少年健全育成活動などを通して、地域安全活動を行なっています。(治安功労)



大石 秀男さん

(山田地区・67歳)

昭和61年に山田町防犯隊へ入隊して以降、率先して地域防犯活動や防犯思想の普及高揚に努められました。平成24年には防犯隊隊長に就任するとともに防犯協会理事を兼務。広報車によるパトロールや暴力追放運動などを通して、地域安全活動に尽力されています。(治安功労)